

(仮称) 市民自治を考える懇話会会議録要約

- | | |
|------|---------------------------------|
| ○日 時 | 平成 18 年 9 月 27 日 (水) 午後 7 時～9 時 |
| ○場 所 | 大阪狭山市役所 3 階 第 2 会議室 |
| ○出席者 | (委員) 16 名 (欠席 14 名) |
| | (事務局) 7 名 |
| | (サポートスタッフ) 5 名 |

会議内容

議題 1 自己紹介

前回、欠席の委員の自己紹介を行った。

また、今回からサポートスタッフとして懇話会へ参加することになった職員の自己紹介を行った。

議題 2 前回の議事録について

懇話会の設立趣旨や、会議の進め方や懇話会の名称など、前回の懇話会の内容を取りまとめた議事録要旨の説明を行った。

議題 3 グループ討議

議題 4 グループ発表

委員が進行役になり、2つのグループに分かれて、グループ討議を行った。

主な意見は、次のとおり。

◎市民自治について

- 自治の気持ちを持っている人が少なくなってきた。
- 市民自治も分かりやすい言葉で、すそ野を広げていくことが必要である。

◎自治会

- 自治会の加入率が低下している。
- 自治会のいいところをPRすべきである。
- 自治会のお金がどのように使われているのか分からない。
- 自治会活動が大変で加入しない人もいる。
- マンションでは、管理組合だけのところもある。
- 自治会の規模、単位は今のままでいいのか。
- 自治会の規約の統一化を図るべきである。

- 新規開発時に自治会への加入を義務化できないか。
- 「自治会」は、自ら治める会といいながら「自ら治める会」＝「自治会」となっていない。
- 自治会に加入するメリットが問われている。

◎地域活動

- テーマを持って活動している人は活発。
- 地域活動は幅が広い。
- 旧地域のつながりは強い。
- 人まかせの人が多い。
- 地域に帰ると無関心な人が多い。
- 土曜日が休みでない人は地域活動が難しい。
- 塾、習い事で子ども会ができなくなっている。
- 若い人が地域活動に参加しない、できない。
- 子育てにやさしい環境づくりが必要である。
- コミュニケーションが下手。

◎役員について

- 役員をしている人はどこに行っても同じ。(熱心な人が多い。)
- 役員の負担(寄付も含めて)が大変である。
- 「私にできることはないか」を見つけてもらえるようにした。

◎住民同士の情報交換

- 近所に困っている人がいても情報がないので分からない。
- もっと住民同士の意見交換が必要である。
- 地域で情報交換できる場づくりが必要である。

◎高齢化について

- 高齢になればなるほど、孤立しないようにしないといけない。
- 子どもと高齢者の世代間交流が大切である。
- やりがいがあることが大事である。

◎家庭教育について

- 「ありがとう」の言葉が子どもから聞かれない。
- 家庭における子どものしつけの問題である。

◎防犯について

- 国道３１０号線茱萸木地区の環境悪化
- 安全・安心のまちづくりが求められている。

議題５ 全体のまとめ

これから何回かこうした話し合いを重ねることで、大阪狭山市の現状がよく分かって、大阪狭山市をよりよくするために何が必要かが見えてくるはずである。必要なものを寄せ集めて、大阪狭山市にとって使いやすい仕掛けや仕組みを作り上げていけばよい。それが条例という形を取るのか。別の形になるのかは、みんなで議論していけばよい。